unicef

ユニセフと地球の子どもたち④

http://www.unicef.or.jp

アフガニスタン
Afghanistan

つらい生活から希望をもって初めての学校へ

アフガニスタンでは五年間、女の子は学校に行くことができなかった。ユニセフは「バック・トゥ・スクール（学校にもどろう）・キャンペーン」という大がかりな活動で、女の子にも学校へ来るようによびかけたんだ。みんなの中にも、募金の協力をしてくれた人がいると思う。ザハラさん（十二歳）がつらかった生活を話してくれるよ。

わたしの国アフガニスタンは、二十三年も国の中で戦争がつづいていました。二年半前にアメリカから空爆を受けたときは、本当にこわかった。いまも大きな音がするとドキッとしてしまいます。

それまでアフガニスタンをおさめていたタリバンという人たちは、女の子が学校に行くことはいけない、ひとりで外を歩いてはいけない、と決めたので、とてもつらくて不自由な生活をしていました。

わたしはお母さん、おばあちゃんと三人でくらしています。お父さんもお兄さんも戦争で死んでしまったからです。収入がなくなってしまったのに、お母さんは働くことがむずかしくて、わたしたちは親類から食べ物をわけてもらったりして生活しなくてはならなくなりました。

髪を切り男の子を装い働く

「なぜ学校で勉強できないの？　なぜ働くことができないの？」。女の子であることは、お友だちやご家族に世界の子どものことやユニセフの活動をつたえることです。つらい思いをして生きている子どもがいることや、ユニセフが世界中で子どもを守る活動をしていることを知らない人がまだたくさんいます。

ユニセフは多くの人に知ってもらう活動に力を入れていますが、応援してくれる人がいたらとても心強いのです。大阪には、日本ユニセフ協会大阪支部という窓口があります。大阪での活動を教えてもらえます。

☎06・6344・5878



「バック・トゥ・スクール・キャンペーン」で学校に行けるようになり、いきいきと勉強する女の子たち　©UNICEF/AFGHANISTAN

女の子は学校に行けなかった ユニセフのおかげで今は通学

わたしが小学校に入学するときには、女の子は学校へ行けなかったし、毎日を生きるだけで必死だったので、学校に行くなんて夢にも思っていませんでした。



わたしが小学校に入学するときには、女の子は学校へ行けなかったし、毎日を生きるだけで必死だったので、学校に行くなんて夢にも思っていませんでした。

勉強にはげみ母を助けたい

お母さんが働けるようになったので、わたしは女の子にもどって学校に通っています。初めての学校！　机やいすはないけれど、勉強道具をもらえたときは、ものすごくうれしかった！　字をおぼえたり、友だちとおしゃべりしたり。新しいことをおぼえるってすごく楽しい！



一生懸命に勉強して、お母さんとおばあちゃんを助けることができるようになりたいと思っています。

掲載は一週おき。次は六月二日の予定です





「バック・トゥ・スクール・キャンペーン」でふえつづける、小学校に通う女の子の割合



世界のすべての子どもは「権利」をもち、「子どもの権利条約」に守られています。

第二十八条【教育を受ける権利】では、子どもには教育を受ける権利があり、国はすべての子どもが小学校に行けるようにすることや、さらに上の学校に進みたいときは、チャンスをあたえるように、としています。

子どもの権利条約

「バック・トゥ・スクール・キャンペーン」のおかげで、アフガニスタンの女の子も学校に行けるようになりました。みんな自分の夢に向かって、一生懸命勉強しています。

おしえて！ユニセフ

しりたん　地雷はまだたくさんありますか？　募金以外で、小学生でもできることは何ですか？

（大阪府・玉置舞・五年）

こたえ　玉置さんは第一回「エチオピア」編に登場したデスタアレムくんへのはげましの手紙もよせてくれました。世界にはまだ約一億個の地雷があって、いまも取りのぞく作業がつづけられています。デスタアレムくんの村も作業をつづけています。地雷を取りのぞくのはとても危険で時間がかかります。小学生にもできることがあります。

世界にまだ約1億個も危険な除去作業つづく

地雷の数は？

ユニセフといっしょに

アフガニスタンでユニセフが中心になって行った「バック・トゥ・スクール（学校にもどろう）・キャンペーン」には、日本全国の子どもたちから心のこもった募金をたくさんいただきました。

アフガニスタンの教育大臣から感謝状

アフガニスタンのモハマド・ユヌス・カヌニ教育大臣が三月五日、日本ユニセフ協会をおとずれ、日本中の協力者への感謝状をわたしました。

「アフガニスタンの教育制度の復興支援のために、思いやりのある募金をしてくださったことに深く感謝いたします。アフガニスタン中の子どもや先生に新しいチャンスを提供できたのは、ほかならぬ日本のみなさまのあたたかなご支援のおかげです。アフガニスタンの子どもたちが継続して学習をつづけられるように、みなさまのあたたかなご支援をこれからもおねがいします」



カヌニ教育大臣（右）から感謝状を受け取る日本ユニセフ協会の澄田智会長
©日本ユニセフ協会

